

# 岡部恒司 仙台市議会 活動レポート

平成24年  
第1回定例会報告

発行人/岡部恒司  
〒981-0933  
仙台市青葉区柏木 2-4-16-501  
電話 022-271-1770



平成24年第1回定例会一般質問時

日頃よりご支援、仙台市政へのご協力に感謝申し上げます。

大震災のあの日から一年。あらためて被害の甚大さと被災された皆さまのご苦難に胸の詰まる思いがいたしません。その中でも、季節はいつの間にかつり、また春の日差しが。

国の対応の遅さに苛立ちを感じながらも、ようやく復興への本格的な動きがスタートしました。

震災に当たりご支援をいただいた皆さまに心から感謝いたします。あの日への思いと災害への備えを新たに、これからの毎日が、再建と新生に向けた希望につながるよう、私も全力で頑張ります。

いまだ、先が見えず将来に不安を抱える若者が、いろんなことに挑戦する土壌を整備したいとも考えております。若者が新しいことにチャレンジする時、我々大人が「よしーやってみるー難しいかもしれないが、ぶつかってみるー」と背中を押してくれる仙台は新しいパワーに満ちあふれた街になると思います。

復興元年の平成24年。そんな、大きな理想を抱きながら、活力ある仙台・日本の将来を一緒に創っていきませんか。

2月16日から3月16日に開会された平成24年第1回定例会において、一般質問の2月24日に登壇し、遅々として進まない震災復興に対する質問をメインに、多岐にわたる質問いたしました。今回のレポートは岡部恒司の質問とその答弁をまとめたものです。

是非一読いただき、皆様のご意見を賜れば幸いです。

### 復興に向けた決意について

質問災害対応について、本市対応の遅れや市長のリーダーシップに対する不満を認めなくてはならない。非常時はトップ・リーダーとして存在感、発信力の発揮と見せ方が問われる。復興に向け先頭に立つ決意、市民への明確なメッセージを市長の言葉として期待するが如何か。

答弁今、仙台で発揮される大いなる推進力を未来へのレールに乗せ、そのエネルギーが途絶えることの無いように、多くのご支援と共に、前へ前へと進んでいく。その先頭に立ち、旗を振り、声を枯らすことが市政のトップとしての役割の一つであろうと考えている。

この1000年に一度の難局に市政の舵取りを預かります私としましては、今後皆様のお声を耳を傾けながら与えられた使命にしっかりと応えるべく力を尽くしてまいります。

### 復興事業に対する指揮監督姿勢について

質問復興事業の推進の為に組織の意思決定を的確、迅速に行い、国と協議を行わねばならない。市長が組織の理念や方向性を示し、意思決定するリーダーシップを果たす姿勢のアピールが必要だ。庁内一丸となった取組みと市長が指導力を発揮する事を期待する。市長が復興事業局に求める役割と、市長としての復興事業に対する指揮監督の姿勢について市長の所見、決意を伺う。

答弁スピード感ある対応をするために復興事業局を設置した。これは、各局で担当していた復興事業をより総合的・一体的に推進する為であり、復興の本格化する中、全庁的な調整も含め、事業の着実な推進に努めていく考えだ。

### 情報発信について

質問復旧・復興に向けた努力・成果は理解されず、市民が知りたい情報、市が伝えたい情報が届いていない。伝える側が努力し、必要な情報を分かりやすく発信できる工夫を要望する。広報や情報発信についてリニューアルや新手法を含め検討し、リフレッシュしてはどうか。民間人材を登用し、新発想とノウハウを取り込み活用する事も必要だ。

答弁情報発信はとても重要で、わたくし自身が事業に対する想いや進捗状況について発信していくことが極めて重要と考えております。また、情報の質・量の充実はもとより、タイムリーで分かりやすい広報について工夫を重ね、ご提案いただいた民間の発想、ノウハウ等を取り入れながら更なる発信力の強化に努めていきます。

### 公共工事について

質問震災後の発注工事における不調件数と不調発生率を土木工事と建築工事に分けて伺う。

今年度の発注工事では、1月末現在、土木工事113件、建築工事19件が入札不調となっている。工事規模によって入札不調の発生にどんな特徴があるのか。

答弁特徴としては比較的小規模の案件が多く、1千万円未満では、土木工事が48%、建築工事が89%の発生率となっている。

質問被災3県を中心に復興パブルだが、復旧・復興の需要に追いつかず、人材不足が続いている。労務単価の実勢が各が高騰し、公共工事を積算する労務単価との開きが大きいため、建築資材の高騰と相まって、入札不調の多発という事態だが、当局はどう分析しているのか。

答弁大震災による被災が甚大かつ多様であり、震災復旧に向けた建設業界全体の業務量が極めて膨大となり、技術者が

を初めとしたマンパワーが不足して、人材を確保するための経費の増大を招き、人員不足と費用の増加という面から受注面の課題が生じていると考えている。今後、復興事業が本格化することから、建設企業への受注環境の改善を図っていく必要があると認識している。

質問国交省は被災地の実情に合わせ、工事費を引き上げ、入札への参加機会を拡げるため入札参加要件の緩和措置を講じるとあるが、国交省が示した対策については如何か。

答弁実勢価格を反映した労務単価の設定が必要であることから、各種専門工や作業員の単価を引き上げているほか、契約後であっても、急激な価格変動に対応した請負代金の変更に可能となる、とされている。また、技術者等の不足に対応するため、現場が近接した工事において、技術者の兼務を可能とする範囲を明確にし、運用を容易にするほか、被災地域と、それ以外の地域の建設企業が共同で公共工事を行うために復興JV制度

を創設するとされている。質問本市はどのような抜本策を講じるのか。

答弁契約手法の改善を図り、地元優先のもと公共工事を着実に推進していく。

具体的には、改定した労務単価を速やかに適用したほか、ランクや工種に制限されない指名競争入札を採用し、更には落札者決定の迅速化を図るため、指名競争入札における1社入札を有効とした。

また、技術者の選任を要しない期間の明確化や、現場代理人の兼務の拡大に加え、復興くまインフラスライド方式による請負代金変更への対応を検討していく予定だ。



〈裏面に続く〉

郵便はがき

9810933

仙台市議員

岡部恒司 行

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号501

投函される場合は、恐れ入りますが、50円切手を貼付してご投函をお願いします。

※是非ご記入ください。

お名前	
ご住所	

様

復興地元業者には震災直後から懸命な復旧作業をしていただいた。遺体と向き合う辛い作業、メンタル面での心配を抱えながらの作業、津波の恐怖や原発事故による不安と闘いながらの作業、夏の暑さ記録的な寒さと格闘しながら取り組んでいる事、地元業者の苦勞をご存知か。地元中小業者に対する支援策を講じ、途切れなく復興需要に対応することが、被災者の生活再建と仙台のまちの力強い復興に資する。副市長の所見を伺う。

**答弁** 地元建設関連企業の皆様には、企業自らや従業員の方々も被災された中におきまして、震災発生直後から極めて過酷な状況の中で、本市復旧復興の最前線で大きな役割を担っていただいたところであり、心より感謝を申し上げております。

今後の地域経済の再生においても大きな役割を果していただかなければならない地元企業が受け皿として、今後とも事業を担っていただけるよう、公共工事発注の際には、実勢価格を反映した工事価格の設定や、技術者等確保の面で工夫を凝らし、経営基盤強化や人材育成等に関する施策も講じることで自信と意欲を持って事業を展開していただけるよう、しっかりと支援してまいりたいと考えている。

**芸術文化活動の再開について**

震災前の水準まで回復しつつあるものと考えている。なお、青年文化センターで行われている仙台フィルの定期演奏会では、入場者数が震災前を上回っており、文化鑑賞に対する需要も高まっているのではないかと考えている。

**質問** 市民の文化・芸術活動への支援策はどんなものがあるのか。

**答弁** コンサートや演劇公演、美術展など、対象となる個人や団体に対し、仙台市市民文化事業団による支援を行っている。具体的には、支援の必要な文化事業を定期的に募集し、内容に応じて、助成金の支出や事業のPR、事業運営のアドバイスや協力などを行っている。震災からの復興においても、人々に元氣や勇氣を与える文化・芸術が重要な役割を果たすと認識している。今後とも、市民の文化活動の促進に向け、支援してまいりたい。

**復興計画で交流促進プロジェクトとして、大規模文化施設誘致を謳っている。サントリホールでの仙台フィルの活躍を考えると大規模ホールを市内にどうするか。如何か。**

**答弁** 復興計画の「交流促進プロジェクト」の中で、都市の魅力や活力を高める施設の一つとして、民間活力を積極的に呼び込みながら、大規模文化施設を誘致することを掲げている。先般「絆コンサート」がサントリホールで開催されましたが、「案都」としての本市の魅力高める、本格的なホールの重要性を改めて認識したところだ。このような施設は意義あるものと考えていて、今後様々な可能性を幅広く検討していく必要があると考えている。

**質問** 芸術・文化による復興を目指す人にステージを提供し観光客誘致に結び付けるべき

だ。復興に向け確かな力を発揮してきた文化・芸術の活動を支援する視点に立ち、観光コンテンツとして活かすべきだと思いが如何か。

**答弁** 本市の魅力は、歴史、芸術、学術などの奥行き深い文化が、豊かな自然環境と同居しているところにあり、それは、観光誘客を進める上でもたいへん重要な基盤であると認識している。本市には、市民の皆様が熱い思いから様々な魅力ある場を創造していく土壌があり、仙台を代表する観光コンテンツへと成長した定禅寺ストリートジャズフェスティバルのように、多くの観客が、市民が参加し、全国からお客様も仲間に入ながら展開する芸術・文化活動の力になってきた事例もある。

今後とも関係する団体や活動の舞台となる施設とも連携し、市民のご熱意をもとに観光の魅力の幅をより一層広げ、こうした芸術文化を生かした交流人口の拡大に努めていく考えだ。

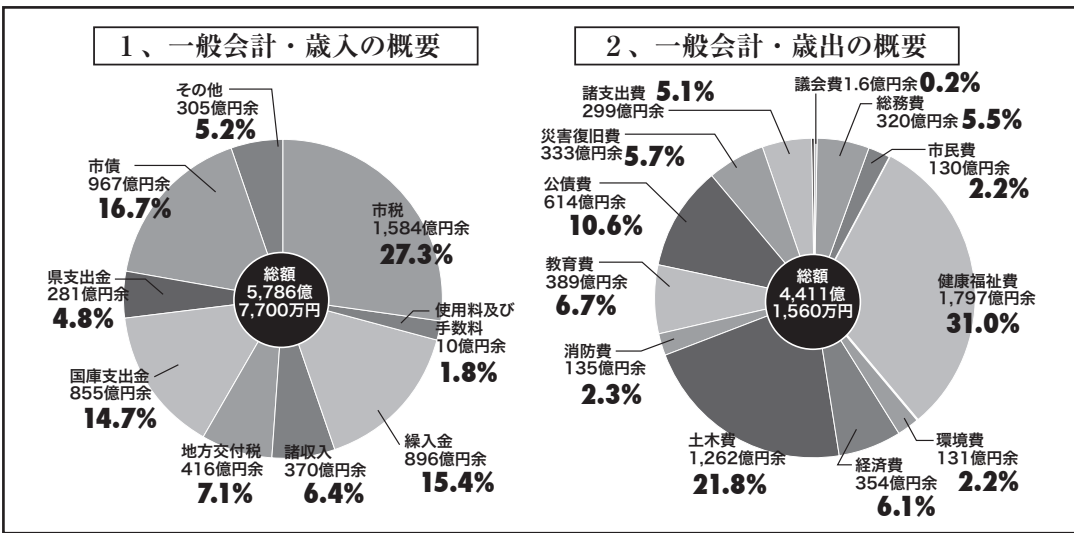
**IC乗車券導入について**

**質問** IC乗車券は本市も本格的導入に向けた動きが始まった。IC乗車券が仙台都市圏の交通機関の連絡をスムーズにし、市内でも全国でも使えてポイントも貯まるカードになれば素晴らしい。後発の利を活かし日本のICカードを目指すべきだが如何か。導入に向けての認識を伺う。

**答弁** 本市においては地下鉄東西線の開業に合わせ、バス事業も含めて現在の磁気カード方式からの転換を目指している。現在のサービスの継続と利便性の向上を最優先とし、加えてICカードの特性を生かした他の交通機関との連携などのさらなるサービス向上策も検討している。普及に向

**平成24年度 仙台市予算**

	平成23年度	平成24年度	増減額	前年度比
一般会計	4,411億5,600万円	5,786億5,600万円	1,375億2,100万円	131.2%
特別会計	2,735億2,522万円	2,897億1,956万円	161億9,435万円	105.9%
企業会計	2,401億9,576万円	2,379億669,0万円	22億2,884万円	99.1%
総計	9,548億7,698万円	1兆1,063億6,346万円	1,514億8,649万円	115.9%



**みなさんの声で住みやすい仙台を!**

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたらお気軽にお知らせください。

●復旧・復興に対してのご意見を一言お願いいたします。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

**みなさんの声をお聞かせください!**

右記のハガキに、市政に関するご意見・地域のお困り事ご意見などを記入し切り取って、表面に50円切手を貼付し投函ください。皆さんと一緒により良い仙台を目指して、地域の声を市政に反響させてまいります。どうかよろしくお願いいたします。



ホームページ開設しました!

<http://okabekoji-sendai.jimusho.jp/>

ホームページからもご意見を投稿することができます。一度ご覧ください。

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786